



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

上場会社名 富士機械製造株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL http://www.fuji.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部长 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	64,702	32.4	8,828	257.9	9,741	204.5	6,875	206.0
26年3月期第3四半期	48,856	△8.8	2,466	△40.2	3,198	△27.6	2,246	△18.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 11,043百万円 (30.9%) 26年3月期第3四半期 8,434百万円 (117.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	70.33	—
26年3月期第3四半期	22.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	149,468	131,949	88.1
26年3月期	135,942	120,794	88.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 131,728百万円 26年3月期 120,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	6.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 4円00銭

平成27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 4円00銭

配当予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	29.6	10,500	246.8	11,300	198.5	8,000	208.5	81.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	97,823,748株	26年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	66,404株	26年3月期	65,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	97,757,788株	26年3月期3Q	97,759,742株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考)

平成27年3月期の個別業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	29.5	9,700	254.8	10,600	202.7	7,500	201.8	76.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

個別業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税の影響から個人消費が減少したものの、企業収益の改善や設備投資の持ち直し等により緩やかな回復傾向にありました。世界経済は、欧州では景況の不透明感から足踏み傾向が続き、中国では成長に減速感が見えてきておりますが、北米では個人消費に支えられ堅調に推移しました。

このような環境のなかで、当グループは、スピード経営を推進し、市場ニーズに対応した競争力の高い製品開発に取り組むとともに、次世代製品や革新的製品の迅速な開発を推進してまいりました。また、国内外の販売・サービス網の継続的な強化とソリューション営業の推進により、拡販と顧客満足度の向上に努めるとともに、世界最適地調達等の推進等サプライチェーンの強化、生産改革による品質の向上とリードタイムの削減によるQCD（品質・コスト・納期）の追求、グループ会社間の連携強化により、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は64,702百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて15,845百万円(32.4%)増加いたしました。また、営業利益は8,828百万円(前年同四半期比257.9%増)、経常利益は9,741百万円(前年同四半期比204.5%増)、四半期純利益は6,875百万円(前年同四半期比206.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 電子部品組立機

スマートフォン等の携帯端末、車載関連基板及び一般産業用基板等に向けた新規設備投資需要が総じて伸びたことにより堅調に推移しました。この結果、売上高は56,420百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて15,254百万円(37.1%)増加し、営業利益は11,313百万円(前年同四半期比153.4%増)となりました。

2) 工作機械

売上高は7,656百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて363百万円(5.0%)増加いたしました。営業損益は314百万円の損失(前年同四半期：営業利益14百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、連結総資産合計は受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末と比べて13,525百万円増加し149,468百万円となりました。また、連結負債合計は未払法人税等の増加等により前連結会計年度末と比べて2,370百万円増加し17,518百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて1,328百万円増加し51,987百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは7,786百万円の収入(前年同四半期：12,144百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,631百万円の支出(前年同四半期：5,880百万円の支出)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,643百万円の支出(前年同四半期：4,045百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社以外の子会社の異動)

前連結会計年度において持分法非適用関連会社であったフジド ブラジル マキナス インダストリアイス リミターダの出資金を追加取得したことに伴い、第2四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,957百万円減少し、利益剰余金が1,262百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,888	46,915
受取手形及び売掛金	12,823	17,662
有価証券	4,000	8,250
商品及び製品	4,754	5,610
仕掛品	13,026	13,641
原材料及び貯蔵品	6,889	6,503
その他のたな卸資産	12	12
その他	4,616	5,669
貸倒引当金	△29	△41
流動資産合計	92,982	104,223
固定資産		
有形固定資産	19,355	19,499
無形固定資産	5,754	5,161
投資その他の資産		
投資有価証券	17,224	19,926
その他	625	657
投資その他の資産合計	17,849	20,583
固定資産合計	42,959	45,244
資産合計	135,942	149,468
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,434	3,751
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	949	1,869
製品保証引当金	681	848
その他	4,707	6,660
流動負債合計	10,372	13,729
固定負債		
社債	600	300
退職給付に係る負債	2,903	861
その他	1,271	2,627
固定負債合計	4,775	3,788
負債合計	15,147	17,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	103,038	109,808
自己株式	△50	△51
株主資本合計	114,281	121,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,180	6,628
為替換算調整勘定	1,147	4,003
退職給付に係る調整累計額	185	46
その他の包括利益累計額合計	6,513	10,678
少数株主持分	—	221
純資産合計	120,794	131,949
負債純資産合計	135,942	149,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	48,856	64,702
売上原価	31,472	38,591
売上総利益	17,384	26,110
販売費及び一般管理費	14,917	17,281
営業利益	2,466	8,828
営業外収益		
受取利息	78	94
受取配当金	211	214
為替差益	294	608
雑収入	227	77
営業外収益合計	813	995
営業外費用		
支払利息	29	11
支払手数料	50	68
雑支出	0	3
営業外費用合計	80	82
経常利益	3,198	9,741
特別利益		
固定資産処分益	57	60
段階取得に係る差益	—	77
負ののれん発生益	19	—
特別利益合計	76	138
特別損失		
固定資産処分損	45	220
その他	0	5
特別損失合計	45	225
税金等調整前四半期純利益	3,230	9,653
法人税、住民税及び事業税	1,083	2,828
法人税等調整額	△91	△59
法人税等合計	992	2,769
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	6,883
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8	8
四半期純利益	2,246	6,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	6,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,690	1,448
為替換算調整勘定	2,505	2,850
退職給付に係る調整額	—	△139
その他の包括利益合計	6,195	4,159
四半期包括利益	8,434	11,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,412	11,040
少数株主に係る四半期包括利益	22	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,230	9,653
減価償却費	3,643	3,978
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△300
受取利息及び受取配当金	△290	△309
支払利息	29	11
固定資産処分損益(△は益)	△12	159
売上債権の増減額(△は増加)	2,908	△4,394
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,531	△158
仕入債務の増減額(△は減少)	△110	△349
未収消費税等の増減額(△は増加)	517	△727
その他	△364	1,738
小計	11,096	9,302
利息及び配当金の受取額	290	309
利息の支払額	△31	△9
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	789	△1,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,144	7,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△3,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,268	△3,435
有形及び無形固定資産の売却による収入	114	197
投資有価証券の取得による支出	△699	△612
定期預金の預入による支出	△82	△63
定期預金の払戻による収入	423	113
子会社出資金の取得による支出	△351	—
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による収入	—	169
その他	△17	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,880	△6,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△2,624	△300
配当金の支払額	△1,420	△1,342
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,045	△1,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,590	1,816
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,808	1,328
現金及び現金同等物の期首残高	47,877	50,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,685	51,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,165	7,292	48,457	398	48,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	2	2
計	41,165	7,292	48,457	401	48,858
セグメント利益又は損失(△)	4,465	14	4,479	△115	4,363

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板受託生産及びソフトウェア開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,479
その他の区分の損失(△)	△115
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△1,897
四半期連結損益計算書の営業利益	2,466

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,420	7,656	64,076	625	64,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2	2
計	56,420	7,656	64,076	628	64,704
セグメント利益又は損失(△)	11,313	△314	10,999	△55	10,943

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,999
その他の区分の損失(△)	△55
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△2,115
四半期連結損益計算書の営業利益	8,828

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	42,175	83.1	41,165	84.3	7,754	60.7
工作機械	8,111	16.0	7,292	14.9	4,904	38.4
その他	460	0.9	398	0.8	116	0.9
合計	50,747	100.0	48,856	100.0	12,775	100.0

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	55,522	81.0	56,420	87.2	8,748	50.2
工作機械	12,313	18.0	7,656	11.8	8,470	48.6
その他	706	1.0	625	1.0	209	1.2
合計	68,542	100.0	64,702	100.0	17,428	100.0

前連結会計年度(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	57,646	84.4	54,744	83.5	9,645	71.0
工作機械	10,002	14.7	10,275	15.7	3,812	28.1
その他	619	0.9	545	0.8	129	0.9
合計	68,269	100.0	65,565	100.0	13,587	100.0

(2) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	5,710	21,014	7,295	6,430	1,533	4,584	2,286	48,856
構成比(%)	11.7	43.0	14.9	13.2	3.1	9.4	4.7	100.0

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	6,676	30,847	8,930	8,186	1,833	6,906	1,321	64,702
構成比(%)	10.3	47.7	13.8	12.7	2.8	10.7	2.0	100.0

前連結会計年度(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	7,769	26,010	11,271	9,368	1,730	6,428	2,988	65,565
構成比(%)	11.8	39.7	17.2	14.3	2.6	9.8	4.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成27年3月期 第3四半期決算発表

平成27年2月12日
富士機械製造株式会社
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の通期予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	85,000	29.6	10,500	246.8	11,300	198.5	8,000	208.5

2. 当期の個別売上高・収益の通期予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	78,000	29.5	9,700	254.8	10,600	202.7	7,500	201.8

3. 当期の連結受注高・売上高の通期予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高	売上高
	通期予想	通期予想
電子部品組立機	73,000	73,000
工作機械	15,000	11,000
その他	1,000	1,000
合計	89,000	85,000

4. 当期の主な科目の通期予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

科目	通期予想
設備投資額	4,600
減価償却実施額	5,400
研究開発費	7,900